

(学年) 第2学年、(教科・科目) 数学・数学 A

一斉学習

(単元) 図形の性質

(本時のねらい)

- ・ 中学校で学んだ平行線と角の関係、三角形の角の性質、三角形の相似条件を確認し、これらを利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。
- ・ 三角形の比の定理と、その特別な場合の midpoint 連結定理を理解し、それらを利用して、線分の長さを求めることができる。

(ICT 活用方法)

中学校で学んだ事項について復習するため、電子黒板を使用して図形を表示する。ワークシートの説明を従来は黒板で提示・説明していたが、図形を正確に表記することは難しく、手元にあるワークシートとの合致が困難な生徒もいた。しかし、電子黒板でワークシートをそのまま表示できることで、生徒自身が理解しやすくなり、図形を正確に把握することができ、視覚からの定着を図る。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法
導入 5分	・ 本時の目標を知る。		
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平行線と角の関係、三角形の角の性質、三角形の相似条件を確認する。 ・ 平行線と角の関係、三角形の角の性質、三角形の相似条件を利用して、線分の長さや角の大きさを求める。 ・ 練習問題を解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平行線と角の関係、三角形の角の性質、三角形の相似条件を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平行線と角の関係、三角形の角の性質、三角形の相似条件を映し出す。 ・ ワークシートを電子黒板に映し出し、説明する。 ・ 一人一台端末に配信されているワークシートに直接解答させる。 ・ 電子黒板を用いて答え合わせをする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形の比の定理と、その特別な場合の中点連結定理を理解する。 ・ 練習問題を解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形の比の定理と、その特別な場合の中点連結定理を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを電子黒板に映し、説明する。 ・ 一人一台端末に配信されているワークシートに直接解答させる。 ・ 電子黒板を用いて答え合わせをする。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のまとめをする。 ・ 次回の予定をを聞く。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板を見ながら本時の振り返りをする。

(授業の様子)



(説明の様子)



(一人一台端末活用の様子)

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

ワークシートを電子黒板に映すことにより、生徒の手元にあるものと全く同じものが投影されるため、生徒自身が説明を理解しやすく、答え合わせなど確認しやすくなった。また、時間短縮にもつながり、授業がスムーズに進むことにより生徒の集中力も途切れることが少なくなった。しかし、投影できる範囲が限られるため、ワークシート作成を工夫する必要があると考える。